

# 第81期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

# らこんテ



人をむすぶ、街をつなぐ  
**九州電力**

Raconte(ラコンテ)は、フランス語で「語る」「話す」という意味です。

## 目次

ごあいさつ	1
営業の状況	3
設備の状況	5
CLOSE UP九電	
「新たな中期経営方針について」	6
「業界トップレベルの効率性を 目指します」	7
「九州電力グループは企業の 社会的責任を果たしてまいります」	9
財務諸表・利益処分	11
連結財務諸表	13
アニュアル アクション レポート (Annual Action Report)	15
九電エコトーク	17
心の旅 in九州	18
らこんて倶楽部	21
株式Information	22
役員・会社概要	裏表紙



表紙の絵

湯布院名物の辻馬車  
(大分県湯布院町)

「心の旅 in九州」(P18)から  
作者:竹中俊裕氏

## ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第81期事業報告書をお手元にお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当社は、電力自由化に対応するため、平成14年3月に「中期経営方針」(平成14～18年度)を策定し、経営全般にわたる効率化や営業力の強化などに取り組んでまいりました。その結果、有利子負債の4,500億円削減や株主資本比率25%などの財務目標に達成の見通しがつくとともに、平成14年10月及び本年1月の料金値下げにより価格競争力を強化するなど、着実な成果を挙げてまいりました。

一方、電気事業における競争は、本年4月からの高圧以上のお客さまへの自由化範囲の拡大、振替供給料金の廃止、卸電力取引所の創設などにより本格化しております。

このような状況を踏まえ、当社は今後5年間を「総合エネルギー事業を中心としたグループの事業基盤を強固なものとし、新たな成長を目指す期間」と位置付け、「基盤固め、そして成長」をスローガンとする新たな「中期経営方針」(平成17～21年度)を、本年3月に策定

いたしました。

今回の方針においては、「お客さまの視点」で、市場競争力のある価格の実現を図るとともに、高い信頼性と迅速な対応，お客さまニーズに即したソリューションの提供，「信頼と安心」のブランドの確立などを経営目標としてお客さま満足度の向上に取り組むこととしております。

また、「財務の視点」で、収益性と財務安定性の向上を図るとともに、業界トップクラスの効率性の実現，さらには電気事業における新たな需要創出や電気事業以外における売上高増に取り組むこととしております。

当社といたしましては、引き続き「お客さま」を企業活動の原点として、経営品質の向上により、お客さま，株主・投資家の皆さま，社会，従業員の満足度を高め，持続的な企業価値向上を目指してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社事業に対し、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



代表取締役  
社長 松尾新吾

# 営業の状況

## 販売の状況

当期のわが国経済は、当初は輸出や民間設備投資の増加などにより堅調な回復を示しましたが、後半は個人消費が横ばいとなり、輸出の伸びも鈍化するなど、緩やかな回復基調となってきました。

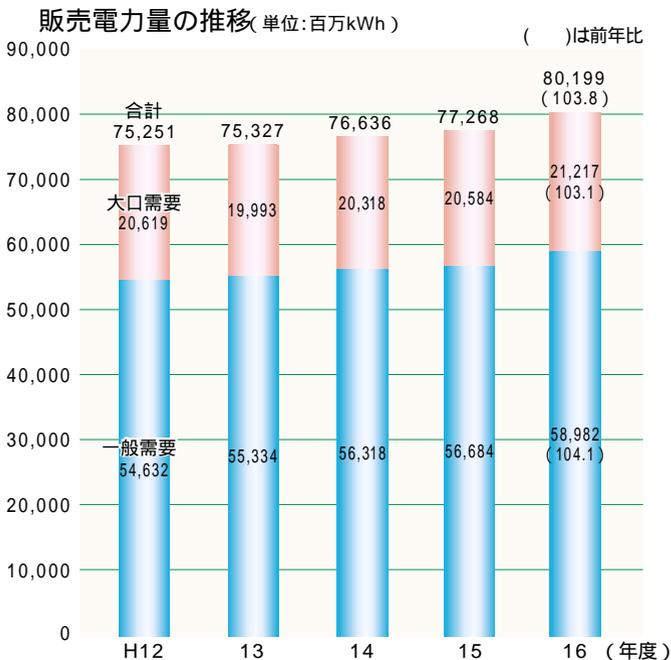
このような経済情勢のもとで、当社の販売電力量についてみますと、大口産業用需要は、セメント工場の廃止による窯業土石の減少などはあるものの、IC関連企業や化学などで生産が増加したことにより、前期に比べ3.1%の増加となりました。また、電灯、業務用電力などの一般需要は、夏季の気温が前期に比べ高めに推移したことによる冷房需要の増加に加え、商業施設などの新規出店による伸びなどにより、前期に比べ4.1%の増加となりました。この結果、当期の総販売電力量は、801億9千万kWhとなり、前期に比べ3.8%

の増加となりました。

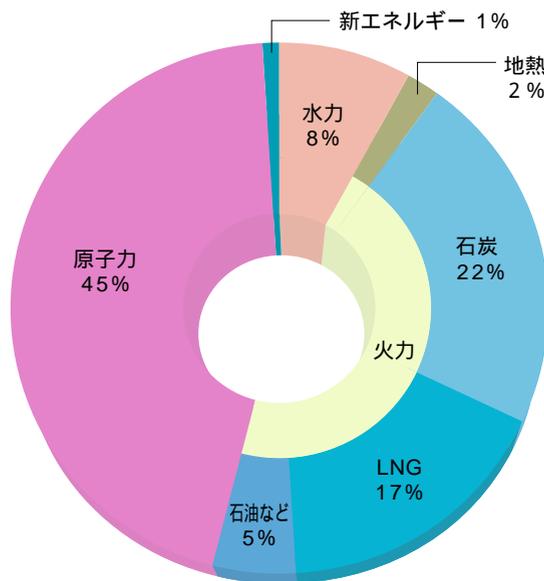
一方、供給面につきましては、原子力などの順調な運転により、安定した電力をお届けすることができました。これを他社からの受電分を加えた発受電電力量のエネルギー別構成で見ますと、原子力45%、火力46%、水力8%、新エネルギー1%となっております。

なお、昨年8月から10月の台風により、当社設備が被害を受け停電が発生し、お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。今後も引き続き、安定供給の使命を果たすため、自然災害に備えた各種の対策を実施してまいります。

電気料金につきましては、これまでの経営効率化の成果や収支の動向を踏まえ、本年1月、平均5.46%の値下げを実施いたしました。



平成16年度 発受電電力量のエネルギー別構成



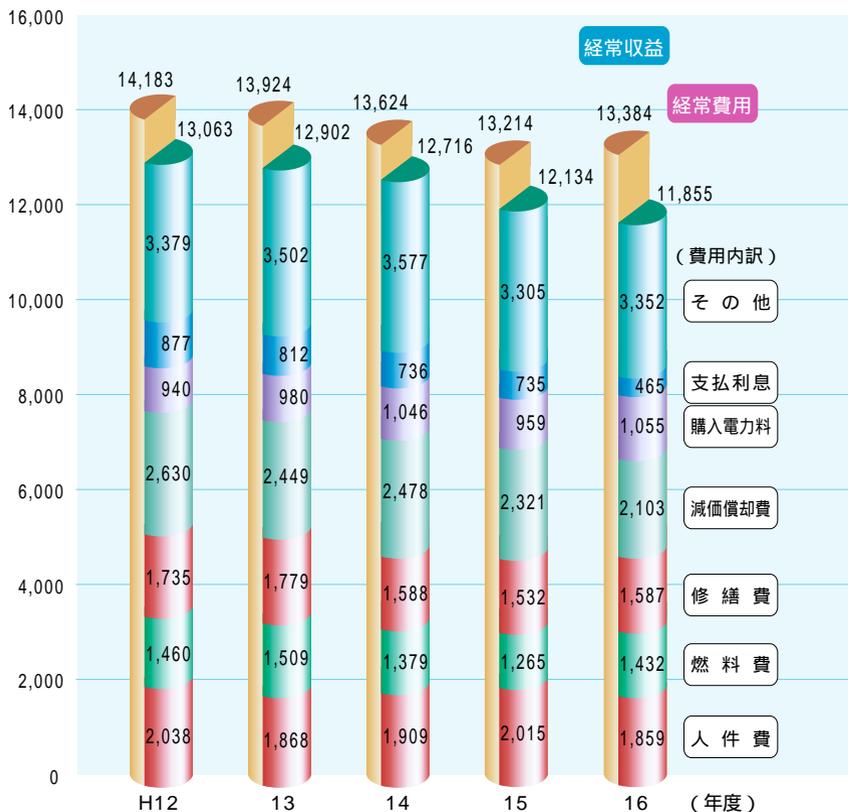
## 収支の状況

当期の収支についてみますと、収入面では、電気料金の値下げの実施や、他の電力会社への融通電力量の減少はありましたが、販売電力量の増加などにより、売上高は、前期に比べ1.1%増の1兆3,331億円となり、これにその他の収益を加えた経常収益は、前期に比べ1.3%増の1兆3,384億円となりました。一方、支出面では、販売電力量の増加及び燃料価格の上昇に伴う燃料費の増加などはありませんでしたが、経

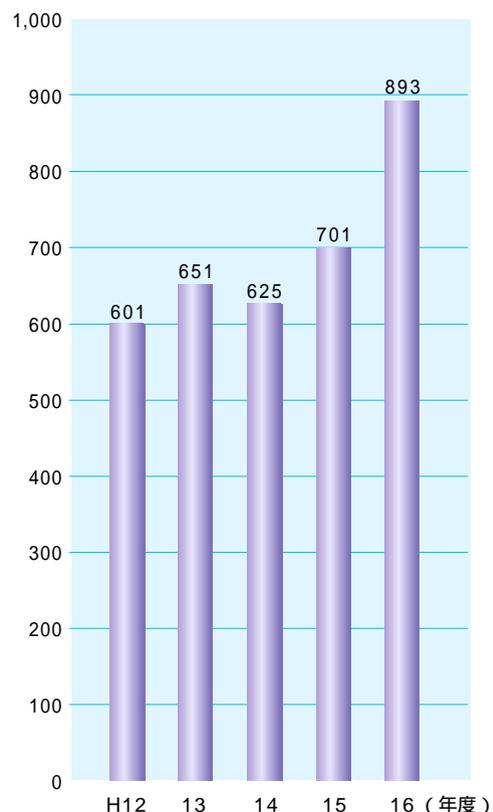
営効率化を推進したことによる資本費や人件費の減少などもあり、経常費用は、前期に比べ2.3%減の1兆1,855億円となりました。以上により、経常利益は、前期に比べ41.7%増の1,529億円となりました。

また、当期から「固定資産の減損に係る会計基準」を適用し、特別損失に66億円を計上したことなどから、当期純利益は、前期に比べ27.5%増の893億円となりました。

経常収益と経常費用の推移(単位:億円)



当期純利益の推移(単位:億円)



# 設備の状況

当期は総額2,001億円の設備投資を行いました。

また、当期中に完成した設備及び建設中の設備のうち、主なものは次のとおりであります。

## 発電設備

	名 称	出 力(kW)
建設中	水力 小丸川発電所(新設)	1,200,000
	火力 松浦発電所2号機(増設)	1,000,000

(注) 松浦発電所2号機については、平成16年4月より工事を中断しております。

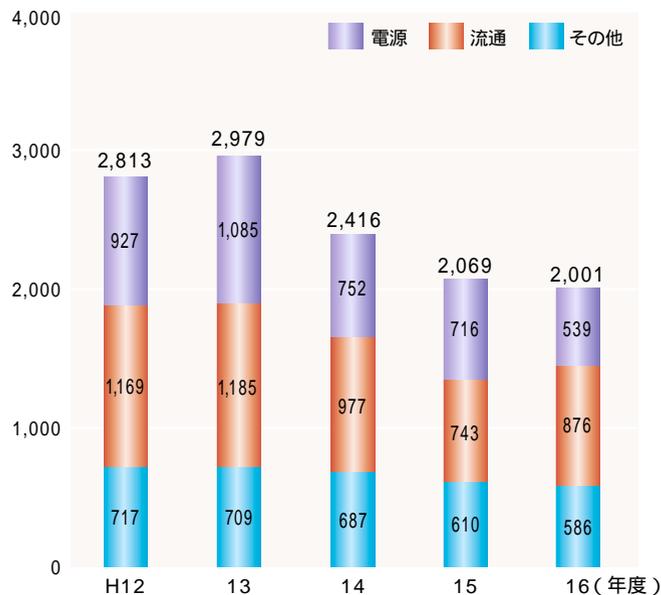
## 送電設備

	名 称	電圧(kV)	亘長(km)
建設中	小丸川幹線(新設)	500	46.3

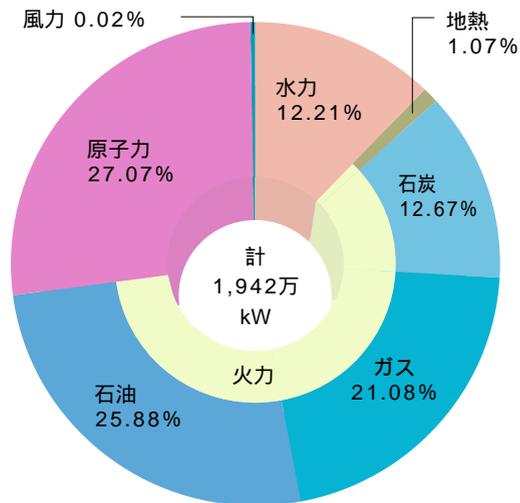
## 変電設備

	名 称	電圧(kV)	出力(万kVA)
建設中	緑川変電所(新設)	220	30

## 設備投資額の推移(単位:億円)



## 発電設備(出力)の構成



(平成17年3月31日現在)

## 新たな 中期経営方針について

当社は、電力自由化に対応するため、平成14年3月に「中期経営方針（平成14～18年度）」を策定し、経営全般にわたる効率化や営業力の強化などに取り組んでまいりました。その結果、有利子負債の4,500億円削減や株主資本比率25%などの財務目標に達成の見通しがつくとともに、平成14年10月及び本年1月の料金値下げにより価格競争力を強化するなど、着実な成果を挙げてまいりました。

一方、電気事業における競争は、本年4月からの高圧以上のお客さまへの自由化範囲の拡大、振替供給料金の廃止、卸電力取引所の創設などにより本格化しております。

このような状況を踏まえ、当社は今後5年間を「総合エネルギー事業を中心としたグループの事業基盤を強固なものとし、新たな成長を目指す期間」と位置付け、「基盤固め、そして成長」をスローガンとする新たな「中期経営方針（平成17～21年度）」を、本年3月に策定いたしました。



### 経営目標

#### 【お客さまの視点】

価格：市場競争力のある価格の実現

品質：高い信頼性と迅速な対応

サービス：お客さまニーズに即したソリューションの提供

企業イメージ：「信頼と安心」のブランドの確立

#### 【財務の視点】

収益性・財務安定性

	単体目標	連結目標	目標年次
FCF（フリーキャッシュフロー）	1,000億円	1,200億円	平成17～ 21年度の 5か年平均
経常利益	1,000億円	1,100億円	
ROA（総資産営業利益率）	3%	3%	平成21年度末
株主資本比率	30%	30%	

（注）FCF = 当期純利益 + 減価償却費等 + 売掛金等の増減 - 設備投資

ROA = 税引後営業利益 / 総資産

効率性

業界トップクラス

成長性

項目	目標年次
電気事業の新規需要創出量25億kWh	平成21年度、 対15年度
電気事業以外のグループ外売上高1,000億円増	

### 主な取り組み項目

#### 【基盤固め】

業界トップクラスを目指した効率性の向上

安全性・供給信頼度の維持との両立を図りつつ、効率的な設備形成や保全、業務運営の効率化などに取り組んでまいります。

信頼される事業基盤の確立

的確な日常業務の遂行や供給信頼度の維持などを通じ、信頼される事業基盤を確立いたします。

また、エネルギーセキュリティの確保、環境問題への対応、中

長期的な需要動向などを勘案し、原子力を中核としたバランスのとれた電源開発を推進してまいります。

特に、原子力発電につきましては、安全の確保を大前提として、積極的な情報公開や分かりやすい説明に努め、次期原子力開発を目指した川内原子力発電所地点での環境調査、玄海原子力発電所におけるプルサーマル計画の実施に着手に取り組んでまいります。

### 企業の社会的責任(CSR)への取り組み

コンプライアンス経営の取り組みの強化、経営の透明性確保に向けた情報公開の一層の推進、環境経営の推進など、積極的に企業の社会的責任を果たしてまいります。

### 組織の能力向上

継続的改善・革新を行う企業風土の醸成や迅速・的確な意思決定、グループの経営基盤強化などに取り組んでまいります。

## 【成長性の追求】

### お客さまニーズに基づいた事業展開

お客さまのエネルギーに関するニーズを的確に把握し、最適なエネルギーサービスを提供するトータルソリューション営業を一層強化するとともに、オール電化住宅の更なる普及促進や電化厨房などの需要開拓に取り組んでまいります。また、情報通信、環境・リサイクル、生活サービスに関わる事業についても収益性・成長性を踏まえ、新たな商品・サービスの開発などに取り組んでまいります。

### 従業員の意欲・能力向上

従業員の能力・モラルの向上、経営戦略に沿った人材の確保・育成などに努めてまいります。

当社といたしましては、引き続き「お客さま」を企業活動の原点として、経営品質の向上により、お客さま、株主・投資家の皆さま、社会、従業員の満足度を高め、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

# 業界トップレベルの効率性を目指します

今回新たに策定した「中期経営方針」(平成17~21年度)において設定した経営目標の確実な達成を目指して、グループ企業が一丸となって一層の経営効率化に取り組んでまいります。

当社の経営効率化への取り組みについて紹介します。

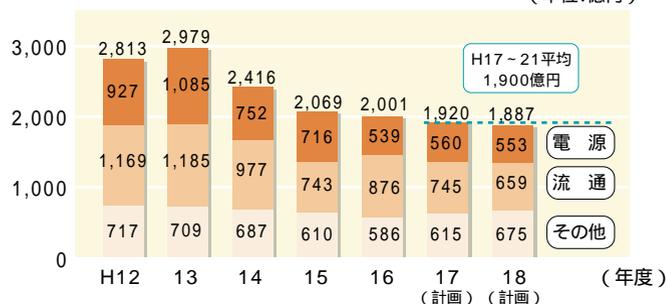
## 1 設備投資の効率化

目標 平成17~21年度の設備投資額を年平均1,900億円とします。

今後も、需要動向に的確に対応するとともに、設計基準・仕様の見直しなどにより、設備投資の効率化を図ります。

設備投資額の推移

(単位:億円)

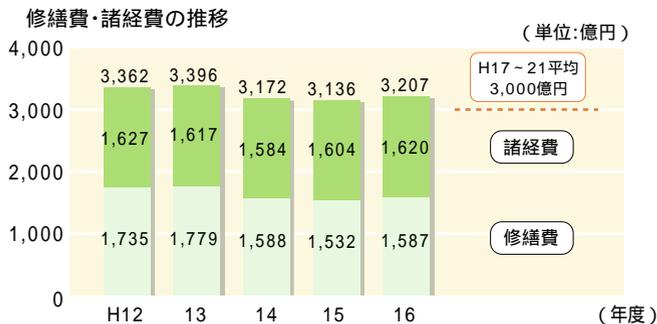


## 2 修繕費・諸経費の削減

目標 平成17~21年度の修繕費・諸経費を年平均3,000億円とします。

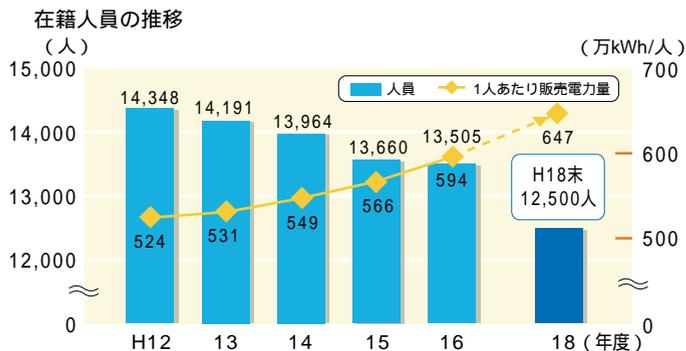
修繕費については、電力設備の拡充や経年化の進展などの増加要因もありますが、リスクマネジメント手法の導入や新技術・新工法の適用などにより、設備保全の効率化・高度化を図ります。

諸経費については、業務効率化のための一時的なシステム開発費などの増加要因もありますが、業務全般にわたる効率化・簡素化に取り組み、更なる低減を図ります。



### 3 業務運営の効率化と人員のスリム化

目標 ITを活用した業務プロセス改革など、業務運営の更なる効率化に努め、人員のスリム化を図ります。



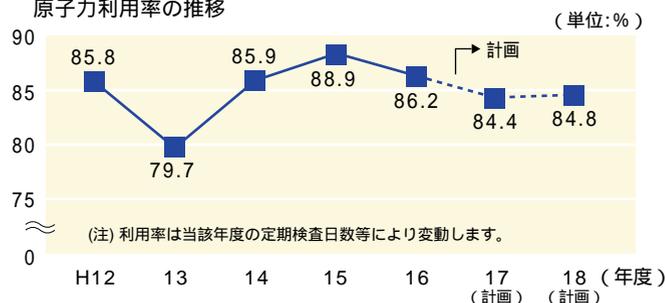
### 4 設備運用の効率化

原子力利用率の高水準維持

目標 原子力発電所の設備利用率の高水準維持に努めます。

原子力発電所の安全安定運転の継続、定格熱出力一定運転の実施、予防保全対策の徹底などにより、利用率の高水準維持に努めます。

原子力利用率の推移



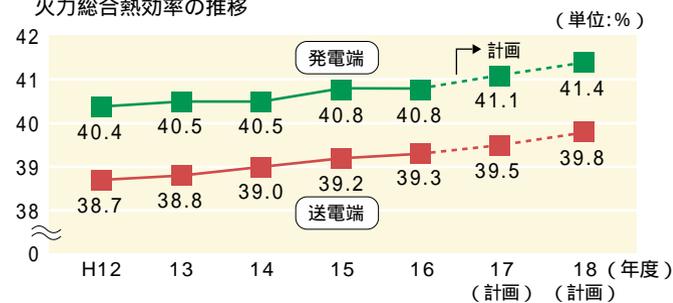
平成13年度の原子力利用率は、浜海原子力発電所1・2号機の主要機器取替工事に伴う長期停止(平成13年3月~9月)により、若干低い水準となっています。

### 火力熱効率の維持・向上

目標 火力発電所の総合熱効率の維持・向上に努めます。

新大分発電所など高効率発電所の高稼働維持などにより、総合熱効率の維持・向上に努めます。

火力総合熱効率の推移



### 5 資機材・燃料調達コストの低減

資機材調達コストの低減

目標 発注方式の多様化や購買原価企画活動の推進などにより、資機材調達コストの低減を図ります。

燃料調達コストの低減

目標 安定調達を確保しつつ、調達先の分散化、契約期間・価格決定方式の多様化などを推進し、燃料調達コストの低減および安定化を図ります。

# 九州電力グループは企業の社会的責任を果たしてまいります



## 当社の「企業の社会的責任(CSR)」への取り組みについて紹介します。

九州電力グループ一体となって「企業の社会的責任(CSR)」へ取り組む姿勢を明確に示すため、平成10年2月に制定した「九州電力企業行動憲章」をCSRの視点から見直し、「九州電力グループ経営ビジョン」に基づく企業活動の具体的規範として、「九州電力グループ行動憲章」を制定しました。

### 九州電力グループ行動憲章

九州電力グループは、「お客さま」を全ての企業活動の原点として、エネルギーを中核とした商品・サービスの提供を通じ、自らの企業価値を持続的に創造することにより、社会とともに発展することを目指しています。

同時に、国内外を問わず人権を尊重し、快適で豊かな社会の創造に貢献するため、グループ一体となった事業運営を展開しています。

このような企業活動を社会の信頼と共感のもと着実に遂行するため、次の原則に基づきコンプライアンス経営を推進していきます。

#### ① お客さま満足の向上

お客さまにとって価値のある商品・サービスを、個人情報の保護を徹底のうえ、安全かつ確実にお届けし、お客さま満足の向上を図る。

#### ② 誠実かつ公正な事業活動

公正・透明・自由な競争や適正な取引を行うとともに、政治、行政との健全かつ正常な関係を保つなど、誠実かつ公正な事業活動を遂行する。

#### ③ 安全文化の醸成

社会安全確保のための設備対策や技術改善はもとより、公衆安全や作業従事者の安全確保を最優先するという「安全文化」を醸成する。

#### ④ コミュニケーション活動

積極的な情報開示をはじめ、広く社会とのコミュニケーションを図り、そのニーズを的確かつ迅速に事業活動へ反映する。

#### ⑤ 環境経営の推進

地球環境問題や循環型社会形成へ積極的に取り組み、環境経営を推進する。

#### ⑥ 地域・社会への貢献

事業活動や社会貢献活動を通じ、地域・社会の皆さまと協力し、その発展に積極的に寄与する。

## 7 明朗な企業風土づくりの推進

従業員の多様性、人格、個性等を尊重し、公正な評価のもと、人材の積極的な育成・活用を行うとともに、快適で働きやすい環境を確保し、ゆとりと豊かさを実現する。

## 8 国際社会との協調

国際的な事業活動においては、国際ルールや現地法を遵守することはもとより、現地の文化や慣習を尊重し、その発展に寄与する経営を行う。

## 9 法令遵守

法令やルールを遵守することはもとより、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的な勢力とは断固として対決する。

## 10 本憲章の精神の徹底と経営トップの責務

経営トップは、本憲章の精神の実現が自らの役割であることを認識のうえ、率先垂範するとともに、実効ある社内体制の整備を行い、社内に徹底のうえ、取引先に周知する。法令違反その他本憲章に反するような事態が発生した場合は、経営トップ自ら問題解決にあたり、原因究明のうえ、早急な是正措置を講じ、再発防止を図るとともに、自らを含めて厳正な処分を行う。

## コンプライアンス社外相談窓口を設置しました

当社では、法令遵守の徹底や企業倫理の向上を図り、公正な事業活動を推進するために、社長を委員長に社外有識者を含む「コンプライアンス委員会」を設置し、従業員が心得ておくべき行動基準などを記載した「コンプライアンス行動指針」を制定しています。また、法令及び企業倫理の遵守や誠実・公正な事業運営という視点から、疑問を感じた社員や取引先が、不利益を被らずに相談できる「コンプライアンス相談窓口」を社内を設置するなど、コンプライアンス経営の推進に取り組んでまいりました。

また、本年4月にはコンプライアンス体制のより一層の強化を図るため、社外にも相談窓口を設置しました。

社外窓口は当社顧問弁護士以外の弁護士へ委嘱し、相談できるのは社内窓口と同じく、当社とグループ会社の役員や従業員、及び取引先となっています。

これにより、相談内容によっては、相談者をより厳密に保護し、相談者が安心して相談できるようになるものと考えています。

九州電力グループは、法令や企業倫理に則った透明性の高い公正な事業活動を徹底することはもとより、社会を構成する企業市民として、環境経営や地域・社会との共生に向けた諸活動を推進していきます。

# 財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資 産 の 部			負 債 及 び 資 本 の 部		
科 目	当期末 (平成17年3月31日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)	科 目	当期末 (平成17年3月31日現在)	前期末 (平成16年3月31日現在)
固 定 資 産	36,583	37,163	固 定 負 債	22,977	23,684
電気事業固定資産	27,403	28,764	社 債	10,111	9,873
水力発電設備	1,997	2,085	長期借入金	6,245	7,572
汽力発電設備	3,992	4,418	流動負債	5,747	6,267
原子力発電設備	3,031	3,338	1年以内に期限	1,913	1,471
送電設備	7,249	7,537	到来の固定負債		
変電設備	2,946	3,106	短期借入金	1,739	2,339
配電設備	6,360	6,400	未払費用	671	583
固定資産仮勘定	2,912	2,346	未払税金	542	467
核 燃 料	2,431	2,348	引 当 金	46	20
投資その他の資産	3,389	3,305	負 債 合 計	28,772	29,971
流 動 資 産	1,481	1,426	資 本 金	2,373	2,373
現金及び預金	312	283	資 本 剰 余 金	310	310
売掛金	680	684	資本準備金	310	310
貯蔵品	240	261	利 益 剰 余 金	6,256	5,600
繰延資産	1	0	利益準備金	593	593
			原価変動調整積立金	1,003	1,003
			別途積立金	3,190	2,690
			当期末処分利益	1,469	1,276
			株 式 等 評 価 差 額 金	360	338
			自 己 株 式	7	4
			資 本 合 計	9,293	8,619
合 計	38,065	38,590	合 計	38,065	38,590

(注)1. 有形固定資産の減価償却累計額 51,767億円

2. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額 360億円

## 損益計算書の要旨

(単位:億円)

費用の部		前期	収益の部		前期
科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)	科目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業費用	11,315	11,276	営業収益	13,331	13,183
電気事業営業費用	11,176	11,171	電気事業営業収益	13,229	13,112
附帯事業営業費用	139	105	附帯事業営業収益	101	71
営業利益	(2,015)	(1,906)	営業外収益	52	30
営業外費用	539	858	財務収益	18	14
財務費用	468	741	事業外収益	34	16
事業外費用	70	116	当期経常収益合計	13,384	13,214
当期経常費用合計	11,855	12,134			
当期経常利益	1,529	1,079			
過水準備金引当又は取崩し	26	20			
特別損失	66	-			
税引前当期純利益	1,435	1,059			
法人税等	541	357			
法人税等	610	545			
法人税等調整額	68	187			
当期純利益	893	701			
前期繰越利益	694	694			
中間配当額	118	118			
当期未処分利益	1,469	1,276			

(注) 1株当たりの当期純利益 188円33銭

## 利益処分

当期未処分利益	146,968,171,804円
海外投資等損失準備金取崩し	20,717,658
合計	146,988,889,462

これを次のとおり処分します。

配当金	16,583,103,670円
1株につき 35円	
役員賞与金	140,000,000
(うち監査役分 19,800,000円)	
別途積立金	60,000,000,000
次期繰越利益	70,265,785,792

(注)平成16年12月3日に11,847,281,775円(1株につき25円)の中間配当を実施いたしました。

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位:億円)

資 産 の 部		前期末 (平成16年3月31日現在)	負債、少数株主持分及び資本の部		前期末 (平成16年3月31日現在)
科 目	当期末 (平成17年3月31日現在)		科 目	当期末 (平成17年3月31日現在)	
固 定 資 産	38,486	39,258	固 定 負 債	24,246	25,035
電 気 事 業 固 定 資 産	27,011	28,349	社 債	10,109	9,870
水 力 発 電 設 備	1,987	2,074	長 期 借 入 金	7,286	8,714
汽 力 発 電 設 備	3,935	4,351	流 動 負 債	6,326	6,890
原 子 力 発 電 設 備	3,006	3,309	1 年 以 内 に 期 限 債	2,182	1,760
送 電 設 備	7,180	7,468	到 来 の 固 定 負 債	1,833	2,438
変 電 設 備	2,903	3,060	短 期 借 入 金	569	521
配 電 設 備	6,202	6,238	未 払 税 金	46	20
そ の 他 の 固 定 資 産	3,093	3,206	引 当 金	30,619	31,946
固 定 資 産 仮 勘 定	2,905	2,396	負 債 合 計	85	88
核 燃 料	2,431	2,348	少 数 株 主 持 分	2,373	2,373
投 資 そ の 他 の 資 産	3,044	2,957	資 本 本 剰 余 金	310	310
流 動 資 産	2,009	1,884	資 利 益 剰 余 金	6,751	6,086
現 金 及 び 預 金	434	381	株 式 等 評 価 差 額 金	369	347
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	848	824	為 替 換 算 調 整 勘 定 式	2	2
た な 卸 資 産	386	413	自 己 本 株 合 計	9,792	9,108
繰 延 資 産	1	0			
合 計	40,497	41,143	合 計	40,497	41,143

(注)有形固定資産の減価償却累計額 54,359億円

## 連結損益計算書の要旨

(単位:億円)

費 用 の 部		前期 (平成16年3月31日まで)	収 益 の 部		前期 (平成16年3月31日まで)
科 目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)		科 目	当期 (平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	
営 業 費 用	11,949	11,927	営 業 収 益	14,087	13,916
電 気 事 業 営 業 費 用	11,077	11,081	電 気 事 業 営 業 収 益	13,205	13,088
そ の 他 事 業 営 業 費 用	872	846	そ の 他 事 業 営 業 収 益	881	828
営 業 利 益	(2,137)	(1,989)			
営 業 外 費 用	611	913	営 業 外 収 益	74	68
当 期 経 常 費 用 合 計	12,561	12,840	当 期 経 常 収 益 合 計	14,161	13,985
当 期 経 常 利 益	1,599	1,144			
渴 水 準 備 金 引 当 又 は 取 崩 し	26	20			
特 別 損 失	105	-			
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	1,467	1,124			
法 人 税 等	578	390			
法 人 税 等	640	593			
法 人 税 等 調 整 額	61	202			
少 数 株 主 損 失 ( 利 益 )	3	5			
当 期 純 利 益	892	727			

(注)1株当たりの当期純利益 187円 91銭

## 連結剰余金計算書の要旨

(単位:億円)

科 目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	310	310
資本剰余金期末残高	310	310
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	6,086	5,569
利益剰余金増加高	905	776
当期純利益	892	727
利益剰余金減少高	239	259
配当金	236	236
利益剰余金期末残高	6,751	6,086

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科 目	当期	前期
	(平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで)	(平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,192	3,868
減価償却費	1,467	1,124
法人税等の支払額	2,402	2,607
	614	610
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	1,935	1,998
投融資の回収による収入	2,063	2,118
	130	104
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	2,210	1,981
社債の償還による支出	996	1,443
長期借入れによる収入	786	3,012
長期借入金の返済による支出	489	707
短期借入金の純増減額	1,480	1,433
コマーシャル・ペーパーの純増減額	609	300
配当金の支払額	580	250
	236	236
現金及び現金同等物の増減額	46	112
現金及び現金同等物の期首残高	375	454
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	33
現金及び現金同等物の期末残高	428	375

## 連結決算対象会社

(平成17年3月31日現在)

連結子法人等21社	
九州通信ネットワーク(株)	
(株)キューデン・インターナショナル	
大分エル・エヌ・ジー(株)	
西日本環境エネルギー(株)	
北九州エル・エヌ・ジー(株)	
(株)キャピタル・キューデン	
(株)電気ビル	
ニシム電子工業(株)	
(株)キューキ	
西日本プラント工業(株)	
九電産業(株)	
九電ビジネスソリューションズ(株)	
森林都市(株)	
西日本技術開発(株)	ほか7社
持分法適用会社24社	
戸畑共同火力(株)	
(株)丸電工	
大分共同火力(株)	
(株)キューヘン	
九州高圧コンクリート工業(株)	
誠新産業(株)	
(株)丸建	
西技工業(株)	ほか16社

(注) 九電ビジネスソリューションズ(株)は、丸電情報サービス(株)が会社分割により、平成16年4月1日をもってニシム電子工業(株)から情報システム事業を承継し、同日付で社名を変更したものであります。

# 当期 平成16年4月～平成17年3月の 当社の主な活動・取り組みをご紹介します。

## 経営効率化の推進

### 経営目標の見直し

H17年3月  
従来の中期経営方針(平成14～18年度)における経営目標の達成の見通しがつきつつあること、及び平成17年4月から自由化範囲の拡大や振替供給料金の廃止などにより本格的な競争がスタートするなど、経営環境が大きく変化していることなどを踏まえ、平成17年度から21年度を対象とした新たな「中期経営方針」を策定。

### 価格競争力の強化

H17年1月  
電気料金の値下げを実施。  
(平均 5.46%)

### 業務運営体制の構築

H16年5月～6月  
お客さまサービスの一層の向上と業務の効率化を図るため、営業所の電話受付業務を一括して行うコールセンターを全社に拡大。  
H16年7月  
営業所へのグループ制導入等、業務運営体制を見直し。

## 需給関係

H16年4月～  
川内原子力発電所における環境調査を開始。  
4月:気象調査, 5月:発電所敷地外の地質調査(陸域),  
H17年2月:海域調査

H16年5月  
玄海原子力発電所3号機におけるプルサーマル計画に関して、経済産業大臣に原子炉設置変更許可を申請。また、佐賀県及び玄海町へ安全協定に基づく事前了解願いを提出。

H16年6月  
小呂島発電所4号機(福岡市)が営業運転を開始。

小呂島発電所4号機



H16年7月

山川発電所に蒸気を供給している九州地熱㈱とその親会社である石油資源開発㈱との間で、九州地熱㈱が所有する蒸気生産設備の資産譲り受けに関する基本合意書を締結。

H16年7月

小呂島発電所3号機(鹿児島県)が営業運転を開始。

H16年4月～H17年3月

平成16年度の販売電力量が過去最大を記録。  
[801億9千万kWh]

## グループ全体での収益力強化

### 総合エネルギー事業

H16年7月

メキシコ・トゥクスパン5号発電プロジェクトの建設工事を開始。



トゥクスパン5号建設状況

H16年8月

台湾の水力発電所建設プロジェクトの実行可能性調査(F/S)を受託。

### 情報通信事業

H16年4月

ニシム電子工業㈱のビジネスソリューション事業部と九電情報サービス㈱を統合し、新会社として「九電ビジネスソリューションズ㈱」を発足。

H16年7月

当社と九州通信ネットワーク㈱は、韓国の通信事業者KTと、日韓光ファイバケーブル(KJCN)を利用して、新たな国際通信サービスを提供することで合意。



調印後、握手を交わす寺崎電子通信部長(中央)とKTのバク常務(右) [左はQTNetの島津常務]

### 環境・リサイクル事業

H16年7月  
㈱ジェイ・ライツが使用済蛍光管から回収した硝子と蛍光体を再利用したリサイクル蛍光管「よかランプ」の製造販売を開始。

### 生活サービス事業

H16年7月  
㈱九州字幕放送共同制作センター(字幕放送制作会社)を設立。

H16年12月  
㈱キューデン・グッドライフ熊本が、介護付シニアマンション「グランガーデン熊本」の営業を開始。



グランガーデン熊本

### その他

H17年1月  
㈱九電シェアードビジネス(グループ各社の間接業務を集中処理)を設立。

### CSR

H17年1月  
九州電力グループ企業共通の行動規範となる「九州電力グループ行動憲章」を制定。

### その他

H16年6月  
サハリン プロジェクトのLNG購入に関する売買契約書をサハリン・エナジー・インベストメント社と締結。



調印後、握手を交わす松尾社長とマクベイ最高経営責任者(右)

H17年3月  
韓国で卸電力市場の設計・運用や電力系統の運用などを行っている韓国電力去来所(KPX)との間で、新たに交流協定を締結。



調印後、握手を交わす松尾社長とキム理事長(左)

(注) は当社グループの会社

## 「地域・社会との共生」への取り組み

当社は、企業の社会的責任(CSR)への取り組みの一つとして「地域・社会との共生」を目指した幅広い活動を九州各地で展開しています。

文化の分野では、九州交響楽団によるコンサートや若手芸家国内外派遣研修、お茶の間論文募集などを行い、スポーツの分野では、各事業所においてスポーツ大会の主催・協力を行っています。そのほか、社員が積極的にボランティアで地域活動に取り組める環境づくりなども推進しています。

### 九電ふれあいコンサート



平成16年7月28日、豊後高田市中央公民館で、「親子のための音楽会 九電ふれあいコンサート」を開催しました。九州交響楽団が馴染みのある曲目を演奏しました。子供さんがカスタネットなどで参加したり、音楽に合わせて歌ったりと、約400名の観客が演奏者と一体となって楽しみました。

### 事業所大スポーツ大会

平成16年11月27日、福岡市民体育館にて、「第13回九電カップ福岡県ママさんバレーボール決勝大会」を開催しました。県内300チームの中から予選を突破したチームが決勝大会に臨み、20代から60代と幅広い年齢の選手が日ごろの成果を競い合い、迫力ある試合が繰り広げられました。



当社は、すべての事業活動において、環境保全意識の重要性を認識し、豊かな環境の実現を目指す「環境経営」を推進しており、昨年度は「日本経済新聞社「第8回環境経営度調査」の業種別ランキング「電力・ガス部門」において、2年連続第1位という評価を受けています。

今回は「環境教育支援活動」への取り組みについて紹介します。

## 当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動の展開

環境問題への社会的関心の高まりや「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の施行に先駆け、2002年度から当社が持つ豊かな自然環境を活用した環境教育支援活動を大分県天瀬町にある女子畑発電所ダム周辺の「女子畑いこいの森」で展開しています。

### 女子畑いこいの森

女子畑発電所は、大正時代からの水力発電所で必要以上の開発が行われず、適切な環境保全が行われてきたため多くの野鳥、昆虫、植物が存在しています。また、2000年度から2003年度まで、横浜国立大学名誉教授 宮脇昭 理学博士の指導による自然本来の森の再生を目指した「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」を地域の皆さまと一緒に実践しており、植樹した木々の生育状況を観察することもできます。

### 環境教育の支援活動

市民活動や学校教育における環境教育の支援活動として、自然観察や森林教室、木工教室などを自然愛好者で構成する市民団



自然観察会

体の皆さんと共同で実施しています。



森林教室



女子畑いこいの森フィールドガイドブック

女子畑の豊かな自然環境の中で、植物や昆虫、野鳥の観察をしたり、森の話を聞いたりして、自然を感じてください。

ホームページで女子畑いこいの森での環境教育支援活動の申込受付を行っています。皆さまのお越しをお待ちしています。

[http://www.kyuden.co.jp/environment\\_activity\\_onagohata\\_index](http://www.kyuden.co.jp/environment_activity_onagohata_index)

### 「2005 九州電力 環境アクションレポート ～環境に優しい企業活動を目指して～」を発行しました

2004年度の環境活動実績と、今後の取り組み方針などを取りまとめています。9回目の発行となる今回は、「CSR（企業の社会的責任）」への取り組みや、京都議定書の発効などへの対応状況等の記載を充実しています。

詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

[http://www.kyuden.co.jp/environment\\_booklet\\_index](http://www.kyuden.co.jp/environment_booklet_index)

冊子をご希望の方は、環境部環境経営グループまでご連絡ください。

TEL 092-726-1531 FAX 092-761-7368

# 心の旅

九州

in の

大分県  
湯布院町



湯布院行きの観光客に愛される「ゆふいんの森号」と由布岳。

## 湯布院の新しい魅力を発見 塚原高原はモノ作り探求エリア

全国の温泉ファン憧れの地 湯布院。  
だが 湯布院町にはまだまだ知られざるスポットが隠れている。  
夏でも涼しい風の吹く塚原高原では 全国各地から  
モノ作りの人々が集まって腕を磨いていた。

温泉がブームになって久しいが、ここ10年近く全国の観光地の中で常に人気の上位を誇っているのが由布院温泉。最近のデータでも 年間に湯布院に宿泊する人数がおよそ100万人 訪れる人数となると実に410万人にも及ぶ。

それほどおなじみの観光地ではあるが、まだ意外に知られていないゾーンがあるのをご存じだろうか。それが、今回訪れる「塚原高原」エリアである。

大分自動車道を福岡から別府方面に向かうとき 湯布院ICを過ぎて右手眼下に見えるのが由布院温泉。それを更に走ると、すぐ左側に雄大な高原が広がる。これからの時期だと、目の覚めるような爽やかな緑の絨織が、その毛足を風になびかせて 光りながら揺れているだろう。

うねるように丘陵が続く塚原高原。点状の屋根が花のようなアクセントだ。  
お問い合わせ：湯布院塚原高原観光倶楽部 TEL 0977-85-2254



塚原高原側から見ると、由布岳もまた違った山谷だ。

ここ塚原には、由布院温泉とは全く違った驚きが数多く秘められている。まず筆頭に上がるのが「塚原温泉」だろう。高原からは高速道を挟んだ伽藍岳の山肌に、白い湯気が上がっている。この塚原温泉は、実は全国的にも珍しい「酸性泉」、pHが1.4(通常のアルカリ泉はpH10~11)と酸性度が全国でも第2位。鉄イオン含有量となると、堂々の第1位である。実際にちょっと飲んでみると、想像以上に酸っぱく渋い。

この強烈さが、効能にも如実に表れる。特に皮膚疾患への効き目は医者も認めるほどで、全国各地から訪れる人が後を絶たない。素朴な造りの建物が、いかに“療養温泉”の風情を漂わす。お湯の色がほのかな薄緑というのも、秘湯にふさわしい。



塚原温泉には露天風呂も、木々の緑が目にも染みる。

建屋の横の山道を6~7分も登ると、この温泉の源ともいえる噴火口に近づく。すぐ足もとには、ふつふつと煮えたぎって泥状の泡を吐く火口。雲仙や別府の地獄と似ているが、硫黄の臭いはさほど強くない。

## 風が、梢が、野草たちが、 創作を弾ませる息吹となって

湯布院の町から山一つ隔てたところに、こんなユニークな温泉や見どころがあったのだ。



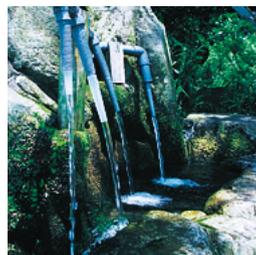
迫力ある火口。湯布院町内のタクシーならここまで行ってくれる。

温泉の蒸気で作った蒸し卵。ほのかな風味があって美味。

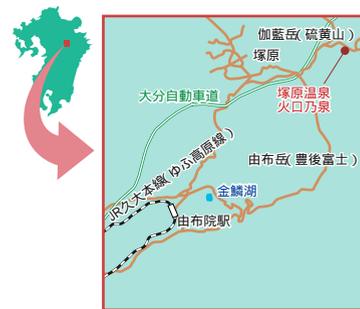


温泉から高原に下りて、塚原のもう一つの魅力「モノ作りの人々」を巡ってみた。もともとこの地区は、牛の放牧や農業などで暮らしを立てるのどかな農村だったが、20年ほど前から別府や大分から移り住む人たちが増えてきた。その一人、松下喜子さんは今、レストランと貸別荘を営んでいる。

「もともと自然への憧れが強かったのですが、たまたまここに遊びに来て、その豊かさに驚きました」と松下さん。夏には部屋でセミが鳴き、鳥の声で目が覚める。夏でも夜はクーラーが要らず蚊もいない。気温は別府と6~7度違うそうだ。



高原内で、30年前から湧き出した「ゆふの水」(持ち帰り有料)。



その代わり冬の厳しさは言うまでもない。塚原名物の強い風が、ゴーゴーと夜の間に響き、雪が<sup>うづたか</sup>堆く積もる。北海道などで有名な「ダイヤモンドダスト」がここでは見られるらしい。

その冬を過ぎ、春から夏にかけて草原は緑萌え立つ。あちこちに可憐に息づく野草の群生。そして秋には、紅葉で高原が紅に染まっていく。

松下さんに案内されて、塚原に移ってきた何人もの人たちにお会いした。陶芸の「<sup>だるま</sup>達磨窯」を開く藤井昭二さんは、多忙な企業経営を辞して好きな焼き物を思う存分堪能している。そ



達磨窯(藤井さん)の作品。  
自然釉の流れがダイナミックだ。

の腕前は海外でも個展を開いたほどで、穴窯まで自分で作ったという。作品の茶碗や花活けの釉薬には、この塚原の自然から抜き取ったような山肌の色、草の色が漂っている。

木工に勤しむ人もいる。大分出身の神野達也さんと、北九州出身の古野修司さん。神野さんはもともと工業デザイナーで、関東でテレビやオーディオデッキなどを設計していたが、リターンしてやはりこの塚原の自然にひかれ、木を素材に食器や小物を手がけ始めた。使う木材には、地元・塚原で育ったサクラやケヤキなども含まれる。「買う素材と違って、乾燥から寝かせまで時間や手間はかかるが、それだけ



穏やかな人柄がうかがえる神野さんの食器やカトラリー。

愛着があるんです。今は大学生になっている子供さんたちも、神野さん作の木製おもちゃで遊んで育ったという。

古野さんは、普通のサラリーマンから40歳を過ぎて思い立ち、職業訓練校で木工や建築を学んだ後、塚原で工房を開いた。「キツネやタヌキと一緒に、木を削っていますよ」と笑うが、その作品は柔らかい木肌が生きて、自然と一体になった優しさがにじみ出る。



古野さんの工房ギャラリー。木製の照明器具に人気がある。

人形を作る田中悦子さんは、「創作人形館・いま」を開いている。同じ人形作家数名の作品も並ぶ展示室では、繊細な表情の人形たちがひっそりと語りかけてくるようだ。関西に住んでいた田中さんは、夫の故郷である九州に遊びに来るうちこの塚原高原の虜になったという。庭の大きなクヌギの木が、田中さんが粘土を練る工房内にも、愛らしい葉の影を踊らせていた。

風や木や野草たちからのインスピレーションを受け、冬の苛酷さにも鍛えられて、塚原のモノ作りはゆっくりと営まれていくのだろう。

この秋から、テレビの連続ドラマの舞台にもなる湯布院。ここ塚原高原もロケ地の一つになるらしい。名物の「風」のように、この高原から新しい爽やかな風が全国に向かって吹き始めている。



大分・姫島のキツネ踊りなどをモチーフとした田中さんの人形。

## らこんで倶楽部

Vol.18の  
テーマ  
旅

## 【川柳】

ケイタイと同行二人札所旅

滋賀県 北川恒雄

湯の宿に心の傷を置いてくる

栃木県 内田芳男

安近短家計に見合う旅で良し

東京都 宮原涼子

金婚へ風入れかえる旅に出る

愛知県 尾畑古留人

旅客機でも正座している祖母が好き

愛知県 武藤久子

遺書通り野に散骨の二人旅

福岡県 中村信人

矢印の順には行かぬ旅が好き

東京都 近藤辰春

スランプをリュックに入れて旅に出る

大阪府 和田優子

## 【俳句】

旅多き十一月の頭陀袋

静岡県 伊賀和子

影法師旅の果てまで義理堅く

福岡県 新原芳幸

曙の鶴の呼吸で旅立ちぬ

宮崎県 福島ミチ子

紫陽花の宿で泣かせる旅芝居

福岡県 志村美子

関門の春灯指呼や旅一步

東京都 津田美代子

椿寿忌やいざ鎌倉へ夜の旅

福岡県 原田隆司

車窓にてコスモスゆれる人もゆれる

群馬県 萩原敬子

## 【短歌】

青葉裏の声を聞きつつ明日訪はむ  
雨の尾鈴の山憶ひをり

神奈川県 八木重樹

晩秋の光に映える京の旅紅葉  
うすうす掌にあたたかき

愛知県 杉本博

流れゆく雲の白さよ山よ川よ

紅葉きらめく山路旅行く

埼玉県 山口藤一

旅終り主婦の顔へと戻りゆく  
をみなは誰も無口となりて

奈良県 永岡由紀子

浄土とはかくやありけむ菩提寺の  
池の睡蓮万の花咲く

熊本県 勝又千代子

## 選後感

「難しい言葉は易しく、易しい言葉は深く、深い言葉は明朗に」声に出したい井上ひさしさんの饒の言葉です。風に名を呼ばれたように旅一人/その次は五木寛之旅で書く/お袋の躰に旅がまだ残り/湯に城に子規に伍健がいてくれる 僅かですが愛誦句より。

鷹野青鳥

## 選者

《川柳・俳句》

福岡川柳作家協会 会長 鷹野青鳥

## 《短歌》

福岡県歌人会 会長 山埜井喜美枝

## なんでも大募集

「次号のテーマ」

## 花

川柳、俳句、短歌、写真、はがき絵など、このテーマに沿った作品なら何でも結構です。ふるってご応募ください。その際、ご応募分野(川柳、俳句ほか)を明記してください。

## 応募方法

下のあて先に 作品(応募分野明記)と 住所・氏名・電話番号「らこんで」についてのご意見・ご感想をお書きになってお送りください。

お送り先  
〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号  
九州電力株式会社 総務部 会社法務グループ「らこんで倶楽部」係9月末日必着  
作品を掲載させていただいた方に記念品を進呈いたします。  
ご応募いただいたはがき等は、ご返却いたしません。

# 株式 Information

## 株式の状況(平成17年3月31日現在)

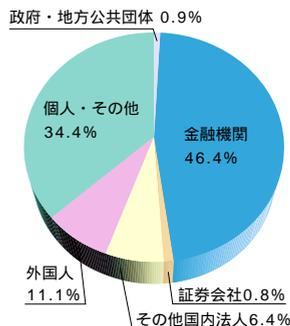
会社が発行する株式の総数	10億株
発行済株式総数	4億7,418万3,951株
株主総数	19万3,470名 (前期末比較6,446名減)

## 大株主

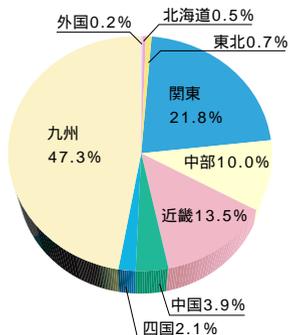
氏名又は名称	所有株式数(千株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	27,251	5.75
明治安田生命保険相互会社	23,710	5.00
日本生命保険相互会社	18,454	3.89
日本トラステイ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,514	3.48
株式会社みずほコーポレート銀行	10,419	2.20
株式会社三井住友銀行	9,319	1.97
みずほ信託退職給付信託福岡銀行口再信託受託者資産管理サービス信託	8,637	1.82
九栄会	7,472	1.58
株式会社みずほ銀行	7,047	1.49
第一生命保険相互会社	5,063	1.07

(注)九栄会は、当社の従業員持株会です。

## 株式分布(所有者別)



## 株主分布(地域別)



## 株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (その他必要あるときはあらかじめ公告します。)

公告掲載新聞 福岡市において発行する西日本新聞  
 なお、決算公告に代えて、貸借対照表及び損益計算書を当社ホームページに掲載しております。  
 ホームページアドレス  
<http://www.kyuden.co.jp/ir/index.php>

名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号  
 中央三井信託銀行株式会社

同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社全国各支店  
 日本証券代行株式会社本店及び全国各支店  
 当社本店

## 株式お手続きに関するお問い合わせはこちらへ

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部(証券代行事務センター)  
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 TEL 03-3323-7111

(注)証券保管振替制度をご利用の株主さまは、ご預託の証券会社にお申し出ください。

なお、以下の場所でも株式事務のお取扱いをしております。

中央三井信託銀行株式会社の全国各支店  
 日本証券代行株式会社本店及び全国各支店  
 当社本店・支店・支社  
 本店 北九州支店 福岡支店 佐賀支店 長崎支店 大分支店 熊本支店、  
 宮崎支店 鹿児島支店 東京支社

株式のお手続き用紙は下記のフリーダイヤル又はホームページでも24時間ご請求を受け付けています。

フリーダイヤル 0120-87-2031

インターネット/ホームページアドレス  
[http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

## 役員

### 取締役及び監査役

代表取締役会長	鎌田 迪 貞	取 締 役	横江 信 義
代表取締役社長	松尾 新 吾	取 締 役	清田 均
代表取締役副社長	芦塚 日出美	取 締 役	樋口 勝 彦
代表取締役副社長	佐藤 光 昭	取 締 役	片山 修 造
代表取締役副社長	今村 毅	取 締 役	日名子 泰 通
代表取締役副社長	田中 征 夫	取 締 役	水口 敬 司
常務取締役	橋田 紘 一	常任監査役	上田 憲 幸
常務取締役	樋口 隆 啓	監 査 役	三小田 元
常務取締役	平塚 強 一	監 査 役	惣福脇 亨
常務取締役	武田 守 正	監 査 役	中里 公 哉
常務取締役	一瀬 秋 久	監 査 役	石村 善 悟
常務取締役	小田原 智 一	監 査 役	小池 美 千 代
取 締 役	蔵野 八 郎		

(平成17年6月29日現在)

### 執行役員

常務執行役員	樋口 隆 啓	執行役員	牛島 健 五
常務執行役員	平塚 強 一	執行役員	小山 一 民
執行役員	蔵野 八 郎	執行役員	加藤 正 二
執行役員	横江 信 義	執行役員	外村 健 二
執行役員	樋口 勝 彦	執行役員	諸岡 雅 俊
執行役員	片山 修 造	執行役員	平野 敏 彦
執行役員	殿上 守	執行役員	山元 春 義
執行役員	貫 正 義		
執行役員	眞部 利 應		
執行役員	谷口 碩		
執行役員	古澤 邦 夫		
執行役員	深堀 慶 憲		
執行役員	池松 勢 三 郎		

(平成17年7月1日付)

## 会社概要

設立年月日	昭和26年5月1日
資本の額	2,373億486万3,699円
従業員数	13,505名
水力発電所	138か所 最大出力 2,371,096kW
火力発電所 (地熱・排熱を含む)	15か所 最大出力 11,390,250kW
原子力発電所	2か所 最大出力 5,258,000kW
内燃力発電所 (ガスタービンを含む)	39か所 最大出力 398,944kW
風力発電所	2か所 最大出力 3,250kW
	合 計 19,421,540kW

### 主要事業所

本 店	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 ☎(092)761-3031
北九州支店	北九州市小倉北区米町二丁目3番1号 ☎(093)531-1180
福 岡 支 店	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 ☎(092)761-6381
佐 賀 支 店	佐賀市神野東二丁目3番6号 ☎(0952)33-1123
長 崎 支 店	長崎市城山町3番19号 ☎(095)864-1810
大 分 支 店	大分市金池町二丁目3番4号 ☎(097)536-4130
熊 本 支 店	熊本市上水前寺一丁目6番36号 ☎(096)386-2200
宮 崎 支 店	宮崎市橘通西四丁目2番23号 ☎(0985)24-2140
鹿 児 島 支 店	鹿児島市与次郎二丁目6番16号 ☎(099)253-1120
東 京 支 社	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 ☎(03)3281-4931

(平成17年3月31日現在)

## 九州電力株式会社

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 TEL 092-761-3031(代表)

当社のホームページアドレス <http://www.kyuden.co.jp/>



このパンフレットは自然環境保護のために再生紙を使用しています。また、大豆油インキを使用しております。